

令和7年1月6日

改めまして、明けましておめでとうございます。

2025年になりました。今年は私にとっては年齢的にも節目の年になります。

西暦で“5”が付く年、1985年、1995年、2005年、2015年に起こった出来事を振り返ってみると、共通しているのが、大きな災害や事故、テロがあったということです。そう考えると、2025年もそんな大きな災害や事故、あるいはテロが起きる可能性を秘めているということですね。これらのことは予測できない、予定されていないことだけに、いつ起こるか分からないわけですが、起きる可能性があるという、「心を備える」というのは大事で必要に思います。

一方で、予定されていること、例えば世界でいうとトランプ大統領の就任、国内でいうと大阪万博の開催、社内でいうと基幹システムの入替は予定された変化ですよね。変化に対しては、現状維持バイアスがかかっている中では、引け目というか、後ろ向きに構えてしまいます。

そこをあえて前向きに捉えていきたいと思います。変化を楽しむ、というのでしょうか。変化することのダメな点を批判や指摘するのではなく、いいなと思える点を褒める。そうすることによって人間としての成長にもつながっていくと思います。

干支で例えるのは好きではないのですが、今年は「へび」年です。へびは脱皮という変化で成長します。出来事という変化を前向きに捉えて、私も成長していきたいと思います。

以上

代表取締役社長 角高哲治